

令和5年4月19日

保護者各位

社会福祉法人大和善隣館  
幼保連携型認定こども園中海こども園  
園長 片桐 真二

## 「中海こども園」令和5年度事業計画

陽春の候、皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。令和5年度がスタートし、子どもたちも職員一同も、新たな気持ちで園生活を送っているところです。

さて、令和5年度の中海こども園の事業計画をお知らせいたします。今年度は、これまでの新型コロナウイルス対応を緩和していけると想定しつつ、何もかも単純に元に戻せばよいということではなく、この3年間の経験を活かして検討し、よりよい取り組みができるよう努めて参ります。なお、今年度の主な行事予定については先日お知らせしたとおりです。

保護者の皆様にはご理解、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(以下の事業計画は、中海こども園ホームページにも掲載されています)

### ●教育・保育理念

『善隣のこころ』

“いつでも どこでも そして だれにでも われ等 善き隣人たらん”

### ●教育・保育の方針 『三つのゼン』

安全：自分の身を守る安全意識を育てる

子どもの思いを受け止めることで信頼感や自己肯定感を育む

自然：自然との出会いにより自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる

子どもたち自身の自然（個性）も大切にする

積善：人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む

道徳性や規範意識を育む

### ●教育及び保育の目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

- ・健康で心豊かな子どもを育てる
- ・感性豊かな子どもを育てる
- ・思いやりのある優しい子どもを育てる
- ・自分で考え、進んで行動できる子どもを育てる



### ●人事計画目標

- ・教育・保育の質の向上に向けて計画的に研修を行うとともに、育成・評価シートをより活用して資質向上を図る。

### ●収支計画目標

- ・保育ニーズを捉え利用定員を85名から75名に変更する
- ・無理、無駄なく計画的な予算執行に留意する。

(裏面に続きがあります)

## ★単年度事業計画

### ●教育保育計画

- 子どもの主体性を生かした教育・保育および異年齢による教育・保育を推進する。また、これを通して人材育成を図る。
- 地域の環境や人材を生かした教育・保育を推進する。
- R4 年度受審した第三者評価を生かし質の向上を図る。

### ●健康支援

- 園児の健康状態や発育及び発達の状態の把握、一人一人の健康の保持及び増進を進める。
- 疾病や感染症等への対応（体調不良児、感染症対策、個別ケア等）を家庭と協力・連携しながら徹底する。

### ●食育の推進

- 野菜栽培や調理等、食に関わる体験を積極的に取り入れるとともに、地元で採れた野菜の提供を心がけ、食や食材に関する興味や関心、感謝の気持ちを育む。

### ●子育ての支援

- 子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。
- 支援の必要な親子の把握に努め、地域子育て支援の充実を図る。（育児相談、一時保育やプレ保育、情報誌発行、子育て親子の交流の場の提供など）

### ●地域との連携

- 教育・保育に地域との交流活動や地域の環境資源を取り入れる。地域文化の継承（仏御前、剣舞）を大切にする。
- コロナ禍で停滞している地域の団体との連携を図る。

### ●小学校との連携・接続

- 年長児の小学校生活への不安をやわらげ期待を持てるように小学生との交流を図る。
- 小学校の先生にこども園の理解を深める機会を設ける。
- 園長と小学校長間の情報交換を図る。